



サービス・アズ・アクション(SA)

「だれかのために」が、「じぶんの成長」になる

SAとは何か？

「SA」とは「Service as Action(サービス・アズ・アクション)」の略で、国際バカロレア教育 MYP(中等教育プログラム)では、教科学習と並ぶ重要な柱になる活動です。簡単に言うと、「行動」を通して地域や誰かの役に立つ活動のことです。

なぜ、何を目的に行うのか？

教科書で学んだ知識を頭の中だけで終わらせず、実際の社会で生かし、経験を通して自分自身を成長させるためです。

目的は大きく2つあります。

社会への貢献： 自分の得意なことや学びを生かして、身近な人や地域、世界をより良くするために行動すること。

自分の成長： 活動を通して、「新しいことに挑戦する力」や「周りとの協力する力」など、「7つの学びの成果」を身に付けることです。

「誰かのために動くこと」は、巡り巡って「自分を磨くこと」につながります。まずは年間で1回以上、自分にできる活動を見つけて取り組んでみましょう。

ATL スキル一覧

- | | |
|-----------|---------------------------|
| コミュニケーション | 1. コミュニケーション |
| 社会性 | 2. 協働 |
| 自己管理 | 3. 管理・調整 |
| | 4. 情動 |
| | 5. 振り返り |
| リサーチ | 6. 情報リテラシー |
| | 7. メディアリテラシー |
| 思考 | 8. 批判的思考
(クリティカルシンキング) |

7つの学びの成果

1. 自らの長所と成長すべき点を自覚できる。
2. 新しいことや、少し難しいことにも挑戦しようとする。
3. 自分たちで話し合い、何をするか適切に決めて計画を立てられる。
4. 粘り強く行動できる。
5. 周りの人々と協力しながら活動できる。
6. 世界の人々や文化、言葉に興味をもち、広い視野で物事を考えられる。
7. 自分の行動が人にどんな影響を与えるか考え、正しい行動を選べる。

SA 計画書

() 年 () 組 () 番 7つの成果の中から、「ボランティアを通して成長させたい力」を選ぶ。

自分の活動の目的 (7つの学びの成果を重視した内容 ※裏面)			
活動日・場所		() 月 () 日 場所 ()	
日時	行動の計画	注意事項	
例 11/16	※打ち合わせや準備、振り返りの提出など必要事項を記入する。 例 浦島マラソンの誘導、詫間中学校に8:00までに集合する。	※準備物や服装を記入する。 例 体操服	
ボランティア実施までに、ここまで書いて提出			
1回目提出 計画書点検欄	保護者氏名 (校外で活動する場合)	点検教員サイン・点検日	
どんな学びの成果があったのかに ボランティア実施後に記入して提出		「ATLスキル」から1つ以上選び、どんな 場面でのように身についたかを書く。	
発揮または身に付いたスキルの 振り返り			
最終提出日 (活動後1週間以内)	担当教員 より		

※最終提出し返却されたら、総合ファイルにとじる。

サービス・アズ・アクション(SA)へのご協力をお願い

保護者の皆様には、家庭での温かい声かけや活動へのサポートをお願いいたします。また、保護者の皆様が「一人の参加者」として生徒と共に活動に参加することも大歓迎です！

通級指導教室のご案内

令和5年度より、詫間中学校に通級指導教室（LD・ADHD等）が設置されています。詫間中学校での「通級による指導」とは、通常の学級に在籍する障害（LD、ADHD、自閉症、情緒障害）のある生徒が、各教科等の大部分の指導を通常の学級で受けながら、一部の授業について、障害に応じた特別の指導を「通級指導教室」といった特別の場で受ける指導形態のことで、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するための指導を行うものです。

例1：毎週水曜日 1 時間目の授業時間に、通級指導教室で担当教員による障害に応じた特別の指導を受ける。

例2：月に 1 回月曜日の放課後に、通級指導教室で担当教員による自立活動を中心とした指導を受ける。

本日、「香川県の通級による指導」の保護者向けガイドのリーフレットを配布しています。通級による指導を希望される方や、通級指導教室についてご質問のある方は、学校にご連絡ください。

<通級ではこんな学習をしています>

通級指導教室（言語）では

- 発音の誤りのある子に対して、正しい発音の仕方の学習をします。

通級指導教室（聴覚）では

- 聞こえの仕組みの学習や、補聴器等を適切に装用する学習をします。

通級指導教室（LD・ADHD等）では

- 読み書きや会話に困難のある子に、その子に合った読み書きの方法や、表現の仕方の学習をします。
- 場に応じたコミュニケーションをとることが難しい子に、集団活動をおし、コミュニケーションのとり方の学習をします。
- 感情や行動のコントロールがしにくい子に、その子に合ったコントロールの仕方の学習をします。

通級指導開始までの流れ（例）

```

graph TD
    A[担任等への教育相談] --> B[校内での実態把握  
校内委員会の開催]
    B --> C{通級が必要と判断した場合}
    C --> D[教育委員会に通知]
    D --> E{通級指導が決定した場合}
    E --> F[通級担当との話し合い]
    F --> G[個別の指導計画の作成]
    G --> H[通級指導開始]
    
```

※ まずは、在籍の学校へご相談ください。

保護者向けガイド

**香川県の
通級による指導**

香川県教育委員会

「通級による指導」とは

- 小・中・高等学校の通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒が対象です。ほとんどの学習は在籍校の通常の学級で受けながら、一部、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を、通級指導教室で受けます。

対象となる児童生徒

- このような児童生徒が指導を受けています。

● 気持のコントロールがうまくできない。

● 読み書きや会話に困難がある。

● 聞き取りや聞き返しが多い。

● 落ち着きがなく、集中することが難しい。

● 発音の誤りがある。

● 友達とうまくかかわれない。

指導の形態

学校 A（設置校）	学校 B	学校 C
通常の学級	通常の学級	通常の学級
通級指導教室	通級指導教室	通級指導教室

巡回指導

自校通級

自分の学校の通級指導教室に通って指導を受けます。

他校通級

設置されている学校に子どもが通って指導を受けます。

巡回指導

担当教員が、他の学校に出向いて指導をします。

指導を受けるにあたってのお願い

- ◇単に「集団での学習についていけない」などの理由で、個別に教科の補充指導を行う場ではありません。一人一人の子どもの状態に応じて、指導の計画を立てて指導を行います。
- ◇集団の中で力を身に付けることをわらいとしますので、個別指導や小集団指導で力が付いたら、指導を終了します。
- ◇通級による指導を希望される方は、担任の先生にご連絡ください。